

News Release

日本をおいしくする

SHOWA

昭和産業株式会社

経営企画部広報課

〒101-8521 東京都千代田区内神田2丁目2番1号
(鎌倉河岸ビル)

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成27年2月4日

昭和産業株式会社 平成27年3月期第3四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：岡田茂）の平成27年3月期第3四半期連結決算は、売上高1,864億47百万円、経常利益71億17百万円となりました。平成27年3月期通期連結業績予想については、平成26年5月13日に公表した業績予想からの変更はなく、売上高2,500億円、経常利益97億円を見込んでおります。

【平成27年3月期第3四半期連結決算】

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、政府による経済政策の効果が下支えする中、消費者物価の緩やかな上昇が見られるなど国内景気の回復基調が続きましたが、海外景気の下振れリスクが依然存在するなど不透明な状況が続きました。

食品業界におきましても、消費税増税による影響を受ける一方、円安基調の継続等による原材料価格の上昇等のコスト上昇圧力が続きました。

このような状況の中、当社グループは、2012年（平成24年）よりスタートした「中期経営計画12-16」がフェーズ2に入り、引き続き6つの基本戦略「①基盤事業の持続的成長」「②新たな分野への挑戦」「③海外事業の強化」「④効率化の推進」「⑤グループ連携の強化」「⑥CSR経営の推進」の下、各種施策の推進に努めてまいりました。

具体的には、「①基盤事業の持続的成長」として、糖質事業における完全子会社である数島スターチ株式会社が製造販売するコーンスターチや加工でん粉他の販売について、当社へ統合することで、販売の効率化を図り、更なるシェアの拡大に取り組みました。でん粉・糖化製品と当社の有する小麦粉や植物油などの素材を有効に活用し、当社の商品開発センター（千葉県市川市）で当社独自の用途開発やメニュー開発を推進し、高品質で斬新な提案ができる体制を構築しております。

また、「③海外事業の強化」として、製粉事業において、中国の製粉企業である大成良友食品（上海）有限公司への出資致しました。今後も旺盛な内需が期待される中国及び東南アジア市場への取り組みを強化して参ります。

「④効率化の推進」においては、引き続き鹿島工場等生産部門を中心にローコストオペレーションを推進いたしました。

一方、販売費及び一般管理費は、発送費の増加等により、昨年同期に比べ、635百万円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は186,447百万円と前年同期に比べ342百万円（0.2%）の増収となりました。営業利益は6,428百万円と前年同期に比べ873百万円（12.0%）の減益、経常利益は7,117百万円と前年同期に比べ965百万円（11.9%）の減益、四半期純利益は4,692百万円と前年同期に比べ849百万円（15.3%）の減益となりました。

【平成27年3月期連結業績予想】

第4四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成26年5月13日に公表した平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はなく、売上高2,500億円、営業利益90億円、経常利益97億円、当期純利益は65億円を見込んでおります。

以上

この件に関するお問合せ
昭和産業株式会社 経営企画部広報課（荒木田）まで
TEL：03-3257-2042
FAX：03-3257-2097